

Wコマンド

この章では、W で始まる Cisco Nexus 1010 コマンドについて説明します。

where

Command-Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) の現在のコンテキストを表示する には、where コマンドを使用します。

where [detail]

シング	タック	フスの)説明

detail

(任意) 詳細なコンテキスト情報を表示します。

デフォルト

コンテキスト情報の要約を表示します。

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザの役割 network-admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、CLIでの現在のモードと、そのモードへどのように到達したかを追跡する場合に役立 ちます。

例

次に、コンテキスト情報の要約を表示する例を示します。

switch(config-if)# where

?conf; interface Ethernet2/3

admin@switch%default

次に、詳細なコンテキスト情報を表示する例を示します。

switch(config-if)# where detail

?conf; interface Ethernet2/3 admin@switch%default

mode: conf

interface Ethernet2/3

username: admin routing-context vrf: default

関連コマンド

コマンド	説明	
show cli variables	ユーザ定義の CLI 固定変数を表示します。	
cli var name	端末セッションの Command Line Interface (CLI; コマンドラ	
	イン インターフェイス)変数を定義します。	
exit	CLI を終了します。	

write erase

固定メモリ領域内の設定を消去するには、write erase コマンドを使用します。

write erase [boot | debug]

シンタックスの説明

boot	(任意) ブート変数と mgmt0 インターフェイスの設定だけを消去します。
debug	(任意) デバッグ設定だけを消去します。

デフォルト

ブート変数、mgmt0 インターフェイス、デバッグの設定を除く、固定メモリ内のすべての設定を消去 します。

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザの役割 network-admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

情報が破損しているなどの理由で使用できない場合は、write erase コマンドを使用して、固定メモリ 内のスタートアップ コンフィギュレーションを消去できます。スタートアップ コンフィギュレーショ ンを消去すると、ブート変数、mgmt0 インターフェイス、デバッグの設定を除いて、デバイスが初期 状態に戻ります。これらの設定は、boot および debug オプションを使用して明示的に消去する必要が あります。

例

次に、スタートアップコンフィギュレーションを消去する例を示します。

switch(config) # write erase

Warning: This command will erase the startup-configuration.

Do you wish to proceed anyway? (y/n) [n] y

次に、固定メモリ内のブート変数と mgmt0 インターフェイスの設定を消去する例を示します。

switch(config)# write erase boot

次に、固定メモリ内のデバッグ設定を消去する例を示します。

switch(config) # write erase debug

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィ
	ギュレーションにコピーします。
show running-config	スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。